

(写)

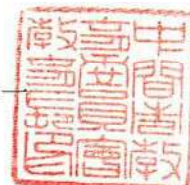
6中教総第1862号

令和7年3月27日

中間市コミュニティ広場・学校再編検討委員会

委員長 蛙田 忠行 様

中間市教育委員会 教育長 蔵元 洋



諮 問 書

中間市教育委員会では、学校施設の老朽化や児童生徒数の減少に加えて、ICT教育の導入による教育内容の多様化や感染症による環境の変化など、児童生徒を取り巻く環境が急速に変化する昨今において、時代のニーズに合った充実した学校教育の実現を目指し、義務教育の集大成である中学3ヶ年の学びと生活の環境を早期に整え、最大限支援するため、中学校を先行した学校施設再編の検討を進めています。

新中学校の配置につきましては、市の方針として全市的なまちづくりの見地から、中間中学校及び中間東中学校の敷地を活用していくことが示されました。

これまで学校規模や学校配置の検討に当たりましては、教育的な視点に重点を置いた検討を行ってまいりましたが、今後、市の方針として示された両敷地を最大限有効に活用し、充実した教育環境を整えていくためには、地域振興やまちづくりの視点、市有財産の有効活用の視点など、より広い視点を踏まえることが必要であると考えております。

また、市の方針として示された両敷地は、校舎とグラウンドの間に高低差があり、敷地の多くの部分を樹木が繁茂した法面を有し、アクセス道路も非常に狭いという特徴があります。

つきましては、中間市教育委員会が目指す子供たちが通いたい学校、保護者が通わせたい学校、教職員が働きたい学校となるよう、これからの教育に対応でき、かつ安全安心に学び生活することができる学校施設の整備手法、更に、地域コミュニティの拠点としての役割を担う学校施設の整備手法につきまして、ご意見を求めます。

記

1 諮問事項

新中学校施設（中間中学校及び中間東中学校敷地）における時代のニーズに合った学校づくりについて